

2019
10

Vol.169



タウン
情報

世帯数	3,282
人口	7,937
男	3,844
女	4,093

(8月末菊川の人口)



イベント
情報

菊川保育園運動会

10/12(土) 9時~12時

菊川探訪
笑顔リレー ほか

発行: 住みよい菊川をつくる会 問合せ: 菊川市民センター(旧菊川公民館) 0834-62-2801



地区	日時	場所
下上地区運動会	10月20日(日)	菊川小学校運動場
加見地区運動会	10月20日(日)	菊川中学校運動場
四熊地区運動会	10月6日(日)	四熊小学校運動場
小畑秋祭り	11月3日(日)	小畑小学校運動場
菊川まつり	11月17日(日)	菊川小学校運動場

第40回菊川まつりの餅まき用
餅作りのボランティア募集

毎年行われている菊川まつりの餅まきですが、平成29年度から、まぐ餅を菊川市民センターで作っています。餅作りに、菊川まつり実行委員と下上菊寿会、加見清流会、そして数名の地域の方が携わっています。

もちひへのりには人手が足りません。昨年は約50人で行いました。今年度もたくさんの方の餅をついてほしいと思いますので、皆さんのお力をお貸しください。

詳細

日時 11月15日(金) 9時~14時(予定)
食事 当日はお弁当とお茶、お餅5個を配布
申込期限 11月8日(金)

申込先 菊川市民センター(0834-28001)



市民センターで夏休み講座開催！

菊川市民センターで小学生を対象とした夏休み講座が今年も開催。毎年恒例の菊川寺子屋(小学生の自主学習の場として市民センターを開放)や絵画教室、木工教室、そして夏休み子供料理教室の四つの教室が開催されました。



今年は初の教室として食生活改善推進員による夏休み子ども料理教室を実施。参加した児童たちは正しい食生活学ぶとともに、ナポリタンやスープ、ポッポーンを作製。美味しく頂いていた。

各地区の夏まつりの様子

下上、加見、四熊、小畑地区の夏まつり(盆踊り)が今年も無事開催されました。各地区に住んでいる小中学生たちがそれぞれの地区のお祭りを支え、盛り上げていました。日が暮れるにつれ増える参加者。お祭りを運営する方や参加者が持つ熱気には、今年の夏の暑さも全く敵わないことだったでしょう。今年も活気あふれる夏の行事となっております。



菊川日和

八時の時報「エネルギー」が流れる中、「よいいっちゃあ」「どうぞ」の言葉をかきぎりに定番の日傘、うちわ、線香、お茶を持ってババ友と出発する。まずは県道の横断歩道の交通安全、黄色い旗に無事故を願いチェック、点検をする。

旧道を川沿いに歩いて行く川辺の草むらに鴨二羽と大きな白鷺一羽が餌をついばんでいる。とんぼスイスイちようちよと「つ」飛び中、今日は野に咲く花里の秋の七草を散策するのだ。

はぎ、ききょう、すすきは厳しい残暑の中元気に咲いている。とりわけ、さるすべりの白と赤とピンクの花が「ねえ私を見て、見て」と言わなくても鮮やかに咲いていた。



高い、この紋所が目に入らぬかこが。夕方は「水戸黄門」よ。「ヤレヤレヤレンノウ

7月14日(日) 消防団 第14分団 優勝

7/14(日)に行われた周南市消防操法大会の小型ポンプ操法大会にて、消防団第14分団が優勝しました。今回分団を優勝に導いた指揮者である田村孝さんからメッセージをいただきました。

消防団 第14分団
田村 孝

5月の夕方から操法の基本である訓練礼式や各操作要領を理解し、節度のある動きができるよう訓練を開始いたしました。

今回、操法の選手としては8年ぶりです。3回目となり、初めて指揮者を務めることになりました。指揮者の役割は、自分の操作要領の習得とは別にチーム全体を見渡すことが必要とされます。しかし、操作要領の習得に時間がかり、指揮者として役割が十分に果たすことができません。日々悩んでいましたが、チームみんなの明るいモチベーションと、やるからにはとことんやりきるという力強い言葉をを受け、心折れることなく素晴らしい訓練ができたことに本当に感謝しています。

大会当日は、雨天という条件が悪い



右から
弥益 友廣 さん
田村 孝 さん
有井 純一郎 さん
笹木 孝行 さん
峯重 圭佑 さん

中でしたが、訓練の成果を發揮し優勝することができました。このような最高の評価を得ることができたのも、今までご指導していただいた諸先輩の皆様、また訓練の手伝い、片づけをしてくださった団員の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

次は県大会が9月21日にあり、周南市代表として出場いたします。そのため訓練が始まりますが、選手一同、県で最高の結果が出るよう努力いたしますので、今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。

7月14日(日) カッパまつり 開催

10年を超える時を経て、菊川にカッパまつりが帰ってきました。お祭りは「いかだ下り」「魚つかみ」「そつめん流し」の3本立てで行われました。「いかだ下り」では、実行委員で作製したいかだや、ゴムボートを使用して、子ども達やその保護者達に富田川を楽しんでもらいました。「魚つかみ」では、簡易プールの中に放流した山女魚を子ども達がつかみ取りし、実行委員に焼いてもらった魚を食べるといった内容でした。「そつめん流し」は豊富な薬味やつゆを用意し、参加者に色んな味のそつめんを楽しんでもらっていました。



当日は雨が降ったり止んだりでしたが、親子合わせて約100名もの参加があり、活気のある賑わいを見せていました。

笑顔リレー

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部(菊川市民センター内)までご連絡ください。



みずき ちゃん (7ヶ月)

これから家族でいろんなところへ行こうね!



けいこ ちゃん (3歳)

優しい子に育ってね♡



そつま くん (1歳)

元気に大きくなってね!

菊川 探訪

第38回

元号のいろいろ

今年(令和)は天皇の退位に伴い、「元号」が「平成」から「令和」に変わった。「元号」は中国を中心とする漢字文化圏に広まった紀年法である。農耕民族では暦をつくることは王権の維持の上で、重要な権限であった。

二百年前の「享保四年」(一七一九)は、徳山藩が改易となった「万役山事件」後に許され、徳山藩の再興が始まった。万役山事件は正徳五年(一七一五)に起き、徳山藩の存続を危うくした秋本藩との境界争いである。本藩久米村にある万役山の「松の木一本」の伐採が発端であり、現在その場所に石碑があるが、周南緑地の東の桜木で「山」とは感じられない場所である。約二百年前の「文政三年」(一八二〇)は、全国の地図を作製した「伊能忠敬」が、周防部の測量をした時期である。更に約百年前の「大正七年」(一九一八)は、大阪の豪商岩井勝次郎が、日本曹達(株)(現在の「トクヤマ」と大阪鉄板製造(株)(現「日新製鋼」)を徳山の地に創設し、周南地域を工業都市とした時期である。

この菊川地区でも、「祖先の置き土産」として、多くは石に元号が刻まれ、年代を特定することが出来て、文化財として守られている。例を挙げると、供養塔「上年五輪塔」は嘉元元年(一一三〇)であり、鎌倉時代の遺品として、立派である。でも、風化があり、簡単には解読できない。しかし、地中に埋まり、近年発見された「川本の古墳墓群」の一部は鮮明である。写真は、「天正十年(一五八二)」の女子の墓石は明確である。天正十年は、日本史上で重要な「本能寺の変」の年であり、時空を超えて感動を与える。

皆様も元号に関心があるなら、神社の鳥居、狛犬や先祖の古い墓石などに、もう一度刻まれた元号をインターネットで、「その時代はどこであったか調べてみる」のも面白い。



コミュニティ・スクールからお知らせ

今回も地域の皆さんにたくさん協力していただきました。



9月の挨拶運動



中学生との熟議



かっぱ祭り

中学生や小学生と一緒にいろいろな活動をしてみませんか?興味のある方は市民センター又は菊川中学校までご連絡ください。

10月~ 新刊文庫リスト(誰でも借りられます)

書名	著者名
ノーサイド・ゲーム	池井戸潤
教場2	長岡 弘樹
あかあさん ありがとう	みやにしたつや
おいしいふくやさん	のしさやか

市民センター文庫 新刊入荷!!

etc.

